大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会　Ligare　ECOZZERIA

2024 年 7 月 1 日

報道関係各位

丸の内朝大学実行委員会

＜ご取材のご案内＞

丸の内朝大学・能登クラス受講生らによる「能登応援部」チャリティイベント「第 2 回　能登酒蔵とつながる会」を開催

能登の今を知り、「支援の多様化」「支援の在り方」について検討

日程：2024 年 7 月 24 日（水）19:00～21:00
場所：3×3Lab Future（東京都千代田区大手町 1－1－2 大手門タワー・ENEOS ビル 1 階）

丸の内朝大学実行委員会（大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体(*)及び株式会社サンプラックスの計 4 団体で組成）は、丸の内周辺エリア全体をキャンパスとした朝の市民大学「丸の内朝大学」において、2013 年に実施された「地域プロデューサークラス 能登編」の受講生らが中心となり、大手町にある交流拠点の 3×3Lab Future にて 7 月 24 日（水）19:00 から**チャリティイベント「第 2 回 能登酒蔵とつながる会」を開催**します。

今回、被災された能登地方の蔵元と全国 19 蔵との共同醸造支援プロジェクト（クラウドファンディング「Makuake」）で造られた奥能登の日本酒を取り寄せ、地元の酒と食を囲みながら現地とオンラインによる交流を通じて能登の酒蔵を応援します。**能登の今を知り、クラファンをはじめ様々な支援の形を知ることで、状況の変化に伴い変わり続ける「支援の多様化」「支援の在り方」について考えていきます。**

ご多忙とは存じますが、是非、ご取材をご検討いただければ幸いです。

チャリティイベント「能登酒蔵とつながる会」について

「地域プロデューサークラス 能登編」の受講生らは、**継続的に支援活動を行う「能登応援部」を結成し、今年 3 月 1 日に「第 1 回 能登酒蔵とつながる会」を開催**しました。延べ 70 名が集まり、全壊した能登の酒蔵から救出された貴重なお酒を味わったり、石川県とオンラインでつなぎ、能登の酒蔵や石川県庁の関係者から能登の現状を聞くことができました。イベント参加者の中から新たに応援部に加わった方も含め、**現在の部員は約 150 人まで拡大**し、SNS 等を通じてそれぞれの支援活動や能登への想いを共有しながら、コミュニティを育んでいます。現地の状況を理解し、共にこれからの支援と復興の在り方を考える中で重要なことは、一過性ではない継続的な活動であるとの認識から、次のアクションにつながる支援として、この度、第 2 回となる本イベントを開催する運びとなりました。前回に引き続き、イベント参加者のうち希望者の能登応援部への入部や、共に活動していただける企業も募集しています。

＜チャリティイベント「能登酒蔵とつながる会」 概要＞

日時：7 月 24 日（水）19:00～21:00　（18:30～受付開始）
会場：3×3Lab Future（さんさんラボ フューチャー）
　　東京都千代田区大手町 1－1－2 大手門タワー・ENEOS ビル 1 階
　　https://www.33lab-future.jp/access.html
定員：50 名
参加費：5,000 円　※必要経費を除く全額を鳳珠酒造組合へ寄付予定
事前申込：https://notosake.peatix.com/

本イベントにて提供するお酒の一例

前回の様子

＜丸の内朝大学とは＞

大手町・丸の内・有楽町地区をキャンパスとし、朝 7 時台から開講する市民大学として 2009 年にスタート。『WORK LIFE 朝大学 -起こそう、可能性を。-』をスローガンに、延べ 2 万人以上のビジネスパーソンの朝をデザインし、社会課題の解決を目指した自主的なソーシャルプロジェクトへ発展してきました。終身雇用制が当たり前ではなくなり、都市か地方か、仕事か遊びかの垣根がなくなっている現代において、働き方や生き方を決めるのはじぶん自身です。朝大学では「朝」「学び」の要素だけではなく、朝大学生が持つ前向きなエネルギーから発展性のあるコミュニティを育むことで、社会や企業とつながる機会を増やし、じぶんの可能性が広がるきっかけを提供しています。

2013 年に開講された「地域プロデューサークラス日本を地域からデザインする! 能登編」では、首都圏の社会人が、能登地域の酒蔵、輪島塗り、能登島、炎り文化、里山里海の現地の関係者と交流を深め、首都圏の人々を能登半島へ送客するプロジェクトを複数立ち上げました。2013 年以降も受講生と能登半島の関係者の交流は続き、2014 年には能登の酒蔵と受講生が連携して奥能登の酒を学び、日本酒の魅力を伝えた「奥能登酒蔵学校」を立ち上げました。

・丸の内朝大学 公式ホームページ https://asadaigaku.jp/

・地域プロデューサークラス日本を地域からデザインする! 能登編 https://news.asadaigaku.jp/archives/asadai_kouza/164

（*）「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）、一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコッツェリア協会）」の 3 団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

＜ご取材お申込みについて＞

下記のメールアドレスに必要事項をお送りいただきますようお願いいたします。

丸の内朝大学実行委員会内 事務局 株式会社サンプラックス 齊藤・鵜久森 宛
info@asadaigaku.jp

① 貴社名：
② 媒体名：
③ 部署名：
④ 御氏名：　　（他　　名）
⑤ メールアドレス：
⑥ ＴＥＬ：
⑦ ご要望等： 個別取材など

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先
丸の内朝大学実行委員会内 事務局 株式会社サンプラックス 齊藤・鵜久森
E-mail：info@asadaigaku.jp